



よき幼稚園 (三)

お茶の水女子大學  
附屬幼稚園主事

及川ふみ

前號、幼児の生活の躰の點を考へて見た。この躰が幼児の生活に自然に、とけこまれて、はいる様になるのには、幼児が先生を信頼して、自分をほんとに可愛がついてくれる人である、即ち幼児のすきな先生であるという事重が要な點である。又一つには、その仲間である友達が、皆仲よしであるという點である。先生がこわかつたり、お友達の方が悪かつたりして、周囲の人たちに好感がもてない様であつては、その躰にどんなに努力しても、ほんの表面的なもので、或は時によつて幼児の行動が變る事になるかもしれない。ほんとに身についたものでなく、人の見てゐる時にだけとか、或は自分に都合のよい時にだけということにもなるおそれがある。幼児が先生や、お友達に對する信頼感が充分にもててこそ、幼児に責任をもたすということも望まれるのである。幼児が自身で責任を感じて行動して始めてよい躰がみにつくのであろう。

躰は幼児の幼稚園生活を楽しく、集團生活に秩序をもたせる爲でもあるが、同時に數多くの躰を約束することは幼児の

重荷になることも考へて、實行出来る範圍のものに止めておくことである。入園當初のものには、いろいろ約束したい事柄が澤山あるのではあるがこの點を考へて徐々にすることである。設備その他の點でもこれを習慣づけるのに便利な様にするのも一つの方法である。

躰についてよき機會をとらえる事も考へたい。幼児の個人的身邊の變化、幼稚園の行事季節等種々の機會を捉へる、よき時期をみのがさない事である。次に幼稚園のカリキュラムに移つて見ることにする。

### カリキュラム

昭和廿五年は認定講習と共に、幼稚園のカリキュラム作成に大努力をばらわれた時でもあつた。

このカリキュラムの作成の後につづいてなされなくてはならないのがカリキュラムの實際の活用後の反省である。即ち現在はカリキュラムの反省期に入つてゐるのであろうと思われる。各自の幼稚園で作成されているカリキュラムが、は

たして如何に實際に役立つているかという點である。即ちカリキニラムが圖表の爲のカリキニラムでなくて、實際毎日の保育室で活動しているカリキニラムであつたかどうかと云うことを考へて見なければならぬ。

幼児の生活の觀察が充分に出來た上で作成せられたカリキニラムであつたかどうか。

幼児の健康、幼児の情緒的發達、幼児の社會性、幼児の知的生活、これ等の諸點について、成長發達の基調とする一般調査保育要領その他を通覧することは勿論であるが、他方においては實際的に各園の現在の幼児についての調査・觀察が主體となつてカリキニラムの作成がなされていたかどうかという點について、

#### 家庭票によつて

家族關係・保護者の職業・家の周圍の環境・入園前の病歴等の參考資料

などによつて幼児の入園前の家庭生活の實情をよく知つておくこと。

#### 幼児の家の周圍及び幼稚園の周圍等の環境について。

幼児が毎日通園する途中の環境、例へば商家の多い場所であるとか、住宅地であるとか、交通のはげしい大都市であるとか、或は靜かな小都市であるとか、様々の環境によつて、幼児たちの經驗も異つているのであるから、この點カリキニラムの活用に直接に大きな影響をもつていゝる。

#### 幼稚園の環境

幼児の數、及びその年齢、教員の數、

施設については、保育室及びその他の諸室、運動場の廣さ、遊具その他の設備、備品等などすべてが幼児の經驗の材料であるので、カリキニラムの内容と直接の結びつきがあるか、どうかということになつて來るのである。

#### 單元

次に單元についての反省をこゝろみよう。單元が、幼児にとつて興味が多かつたか、どうかということは、その單元

單元に興味が多かつたか、どうかという問題は、その單元の評價について第一にとりあげてよい問題である。幼児が興味をもてない。或は興味の少い單元は、これを取りあげる價値のないものである。尙これについて一組或は個々の幼児について考へなければならぬことであつて、一組のうちごく少數のものに興味のあるものであつてはならないことである。

幼児の興味は、幼児自身の經驗したことによつて、その基礎づけられることが多い。つまり單元を有効に活用出来るのは、幼児の經驗によつてはじめられることである。

家庭、幼稚園、通園の途中等においての幼児がみぢかに經驗した事から選ばれることである。このことから單元が計畫的なある大さをもつものの場合と、無計畫的な小さな單元である場合もあるのである。

即ち幼児とお友達、先生などで、話し合つて單元をきめ、

それぞれが計画的に活動に入る、比較的大きな単元を連続してなされる場合もあるが（普通一般にはこの種が多いのであろうが）又一方偶発的に小さな単元をとりあげて、幼児の興味を充分に見つけ出すこともある。例へば一人の幼児が登園の途中で出會つた犬について興味深く話し出した場合などに、教師はすばやくこのよき機會をとらえて、単元にするのは最もよきものが出来るのである。大抵の場合これ等の単元は比較的小さなものであることもあるが、又時としてはこれがきつかけとなつて大きな単元にまで發展する場合もある。こうして見出された単元は、この幼児たちにとつて最もよい単元といふべきである。よき教師はこうして幼児たちの中からよき単元を發見する人であらうと思われる。

單元が幼児たちの身心の成長發達に如何に役立つたか。興味は單元の良否を決める一つの觀點であるが、その單元によつて遊んでいるうちに、幼児たちが何を得たかについて考えてみなければならぬ。

お店遊びをした時に、友達と一緒に仲よく共同作業をしたかどうか、賣り買い遊びの時に、數についての理解が出来たかどうか、お店の品物を整理整頓が出来た幼児たちの情緒的の生活がうるをつたかどうか。

など計畫された單元の一つ一つについての、その評價について考へなければならぬ。尙この時に教師の考えねばならないことは、單に幼児のもつている経験の整理という點にとどめないうで、これをもとにして個々の幼児が知的方面でも、

さらに進んで探求が出来るように誘導することである。又幼兒の社會性について、さらにその分野の擴まる様にと誘導することも合せて計畫すべき點ではなからうかなどの諸點である。

單元の數が、多いか、少いか。

單元をカリキュラムの表にあらわすときには、その數が多ければ賑かで一見よく出来たカリキュラムの様にも見えるがそのの實施の點を考へると、はたしてこれだけの單元が充分に消化されているだろうかと思ふと同時に、幼兒や教師の負擔が多すぎはしないかと、考えられる。今多くとられている單元の數、單元の大きさについて今一度反省をして見る時ではなからうか。さきに單元のところであげた偶発的小單元も入れられる點もあるからそこに餘裕をもつた方がよいと思われる。

### 單元以外の保育内容の経験

幼兒に經驗させる保育内容は、保育要領にも大要示されている。幼稚園のカリキュラムは單元及びそれに含まれていない經驗内容との兩者が適當に配列されるべきである。年長の幼兒にあつては、單元がより多くとり上りあげられることであらうし、又幼稚園の地理的環境によつても都會地と農村地域とでは幼兒の文化的の發達の點も異つてゐるので、單元の數などでも自然に差があることである。即ち年齢により、環境によつて、それぞれに、即應した途がえらばれるのである。

幼児が個々に経験される様々の保育内容が、數種入りまじつて、自然に作りなされた單元がもつともよき單元と云えるので、單元の爲の單元、カリキュラムの爲の單元ということにながされないで、どこまでも、「幼児から出發して幼児に歸る」單元であるべきである。單元の外にある個々の保育内容についても、幼児への指導は重要なものであつて、個々の保育内容が十分に指導されていることによつて、又單元の内容充實と云うことにもなる。即ち兩者は二つであつて一つである。車の兩輪のわけである。お互に相たすけてはじめてよきカリキュラムが作られるのである。

「よき幼稚園」のみだしのもとに三回にわたつて愚見をのべたのであるが、よき幼稚園、の意味の充分に表現が出来ないところが多かつたことと思われるが要するに、

幼児が幼稚園へ喜んで行く

幼稚園では幼児たちが皆樂しそである

先づこの二點はよき幼稚園の要點であろう。幼児が幼稚園へよろこんでいく。幼稚園では幼児たちが皆樂しそである。この二つのことが、充分に幼稚園として興へられているであろうか、幼稚園の實際にあたるものは反省してみたい。幼児は不足がちな設備のよくない幼稚園へもよろこんで来てくれる。誘導の不充分な教師と一緒によく、楽しくお友達と遊んでくれる。教師たちは幼児のこの二つに對しても、もつともつとむくいなければならぬ。幼稚園の幼児を一番よく理解しているものは受持の教師である。一人一人の幼児がど

んな家庭の環境にいるか、その幼児の身心の發達の態はどんな程度か、何に興味をもつているか、どんな特徴をもつているか、など一人一人の幼児の狀態が最もよく知られている。他方においては幼児は受持の教師を絶體的に信賴して、最大の安定感をもつている。この兩者の關係を考へた時に、幼稚園のカリキュラムの編成は、誰が最も適任者であるかが明瞭になつて來るのである。最もよきカリキュラムはその幼児を取もよく知る幼稚園の實際家の手によつて作られるものである。日本全國幼稚園のカリキュラムの反省期にのぞんで幼稚園の實際家の手によつて、カリキュラムの再検討を望んでやまないものである。

幼稚園教育のねらいが「よき幼児」であつて子供としてよりよき身心の成長發達をのぞんでいるのである。いたづらに特種の知的、或は情操的方面に偏した保育は、普通の幼稚園教育のさけなければならないものであらうと思われる。

